

令和8年1月8日

※ 2026年スタート・・・「今、無事であること」は当たり前ではない

「あけましておめでとうございます。」

二年前のお正月には、能登半島地震が起こり、大勢の犠牲者が出ました。つい二日前、島根県東部でマグニチュード 5.1 となる地震が起こり、こちらの地域も揺れを感じました。幸い被害は小さかったですが、昨年末に実施した多くのことを想定した防災避難訓練が思い起こされました。いろいろなことを学ぶことは本当に大切なことですが、防災に関しては、その時々で行うことや考えることが状況によって変わってくるということを考えなければなりません。

災害が起こるたびに、私たちは「当たり前の日常は、決して当たり前ではない」ということを思い知らされます。防災は「その時」だけ意識すればよいものではありません。日頃から考え、行動を積み重ねておくことで、いざという時に初めて力を発揮します。三学期の学校生活もよく似ています。三学期は短く、あっという間に過ぎていきます。しかし、この一日一日の過ごし方が、一年の締めくくりを決め、次の学年、次の進路へとつながっていきます。

「今、無事であること、今ここに集まって三学期を迎えていること」は当たり前ではありません。「まだ時間がある」ではなく、「今しかない」という気持ちで、授業、行事、友達や先生との語り合いなどを大切にしてほしいと思います。特に現小松高校生が揃う最後の学期です。自分の未来に恥ずかしくないように過ごしてほしいと考えます。

※ 新小松高校校歌完成・・・積み重ねを大切にし、新しい時代を刻み始める人に

昨年末に、君たちの大先輩、秋川雅史さんから、新小松高校校歌完成の知らせを受けました。一年ほど前に小松高校、丹原高校で有志を募り、「新しい小松の風」というプロジェクトを立ち上げました。この中に何名かメンバーがいます。9月12日の校長講話で新校の校章について紹介してもらいましたが、校章も、両高校の生徒と教員で作成してもらいました。今回、新校準備委員会を12月24日に終え、校歌として了承され、県からも公表となりましたので、ぜひ聴いてください。

- | | |
|--|--|
| 1 篤志の坂 登りし先に
出逢い多き 希望の学び舎
遥かそびえる 石鎚の山
高嶺の夢を 追いかける者
光まといて 小松の風吹き抜けてゆく | 2 笑顔が咲く 椿の薫り
瀬戸内を 遠く感じて
思う心は 海より深く
許す心は 空より広く
理想を求め 小松の花咲かせてゆく |
| 3 清らかな 水のせせらぎ
草萌ゆる 慎み深く
永遠の祈り 養正が丘
刻み始める 新しい時代
未来への路 小松の鐘響いてゆく | |

これは、新小松高校の校歌ですが、制作に携わったのは、校章も含め現校の人々です。今、ここにいる人たちの未来へのメッセージが込められています。校是は、「積微力行」を引き継ぎます。皆さんには、「これまで積み重ねてきた自分」を信じて、新しい舞台に挑戦できる人になってほしい。三年生は卒業後、すぐ先に真新しい舞台が待っています。一、二年生の積み重ねは、今は見えなくても少しずつ姿を現してきます。

新しい時代（とき）を刻むための準備をする三学期にしてくれることを、心から期待しています。